

馬肉医心

ぽかんいしん

vol.5
2015
春号

下関医療センター 馬肉医心 春号 vol.5/2015

4月1日付 人事異動及び新規採用者

 看護師 赤星光妃	 看護師 大田 恵
 看護師 小川菜奈	 看護師 多田 ゆかり
 看護師 中村志帆	 看護師 西方陽香
 看護師 二神公則	 看護師 益田 茜
 看護師 宮崎圭子	 看護師 村岡佑紀
 介護福祉士 緒方裕樹	 介護福祉士 山本果歩



＊ 今後の病院行事のご案内 ＊

肝臓病教室 【一般の方向け】 14:00～ 健康管理センター 4階大ホール	5/22(金) 「もっと知りたい脂肪肝!」～脂肪肝の診断と治療～ 講師: 下関医療センター 肝臓病センター 加藤 彰	臨床栄養勉強会 知らなきヤソ塾 【医療従事者向け】 15:30～	5/16(土) 会場: 安岡病院 14:00～
	6/26(金) 「もっと知りたい肥満食!」～生活習慣病と食事～ 講師: 下関医療センター 栄養士		6/18(木) 会場: 関門医療センター
	7/24(金) 「もっと知りたい肝硬変の運動療法」～肝硬変と筋力低下～ 講師: 下関医療センター 医師 土屋 昌子		7/16(木) 会場: 昭和病院

I N D E X

呼吸器外科ご紹介 P2～P3
 新入職員の紹介 P4～P6
 4月1日付 人事異動及び新規採用者
 今後の病院行事のご案内

【理 念】
最新の知識と医療レベルを駆使して、地域住民に誠心誠意奉仕します

【基本方針】
1. 病める人の立場に立ち全人的医療を実践します
 2. 地域連携を推進し、地域に密着した医療を展開します
 3. 良質・最新の医療を提供するため、日々の研鑽と人材育成に努めます



独立行政法人地域医療機能推進機構
下関医療センター
 郵便番号750-0061 下関市上新地町3丁目3番8号
 TEL.083-231-5811(代表) FAX.083-223-3077
 TEL.083-231-7887(健康管理センター)
 TEL.083-233-7850(介護老人保健施設)

PHOTO/若葉

呼吸器外科とは

肺・気管支など呼吸器疾患の外科的治療に取り組む科です。手術に加えて、内科・放射線科・麻酔科など個々の疾患に関連する各科と連携しながら、内視鏡・薬・放射線を組み合わせた治療を行ないます。

当科の特徴

呼吸器領域では“外科医”が内視鏡検査をおこなうことが珍しいことではなく、日本呼吸器内視鏡学会会員のかかりが呼吸器外科医です。我々も積極的に気管支鏡検査を施行し、診断・治療方針の決定・手術・術後治療に至るまで長期にわたって患者さんを“お支え”していくことができる仕組みを作っています。近隣の医療機関のニーズや患者さんの居住地を考慮し、診断のみ行う症例も増えています。実際の気管支鏡検査においては、“情報の共有が最大の危機管理である”と考え、症例毎に病歴・薬歴・検査の必要性・画像の特徴・予測される手技の問題点・患者さんの雰囲気まで説明し、共通の目的意識を持って行っています。安全のため1泊入院にしています。当院で検査や手術を希望される患者さんに最善を尽くすため、当科では病状に応じて県内外から最高のパートナー（いずれの医師もいっしょに仕事をした仲間、指導的な役割を果たしている専門医）を招聘できるシステムを作り、すでに運用しています。診断率の高い検査、合併症のない“きれいな手術”をすることを常に考えています。

診療内容

【内視鏡診断&治療】

- ① 仮想気管支鏡誘導システムによる肺末梢病変に迅速かつ正確に到達可能（ナビゲーション）
- ② 肺末梢病変に対するガイドシース併用気管支鏡内超音波断層法下の生検（EBUS-GS）
- ③ 気管・気管支周囲の病変に対するリアルタイム・針生検（EBUS-TBNA）
- ④ 蛍光気管支鏡（AFI）、狭帯域光気管支鏡（NBI）を用いたふつうの気管支鏡ではわかりにくい早期中心型肺癌の診断、先端径2mmの超極細径気管支鏡による胸膜直下病変へのアプローチ
- ⑤ 気管支鏡下の難治性気胸治療（シリコン塞栓子充填術）、硬性鏡下の中枢気道狭窄に対するステント治療、レーザー焼灼術

【外科手術】

原発性肺癌・転移性肺癌・縦隔腫瘍（先天性嚢胞、胸腺腫、奇形腫、縦隔型甲状腺腫など）・気管腫瘍・胸壁腫瘍・悪性胸膜中皮腫・気胸（自然気胸、月経随伴性気胸、続発性気胸）・胸部外傷・膿胸・胸膜炎・難治性胸水（化学的癒着術、タルク胸腔内注入、胸腔-腹腔デンプーシャント造設など）・真菌性（空洞性）肺腫瘍・MAC症・気道出血の外科治療、原発性手掌多汗症の胸腔鏡下胸部交感神経幹切除術、審査胸腔鏡検査（原因不明の胸水、胸膜肥厚など）、未診断肺腫瘍・間質性肺炎などに対する診断的胸腔鏡手術などの広範囲の分野の手術をカバーしています。

【肺癌の化学療法】

十分な検体により、EGFR遺伝子変異の有無、ALK融合遺伝子の有無まで検索し、“抗がん剤”以外に分子標的治療薬の使用機会を逸さないようにしています。

4月1日付 人事異動及び新規採用者

副看護部長
久門 容子
(星ヶ丘医療センターより異動)

看護師長
川村 佐知
(高知西病院より異動)

総務企画課 課長
岩永 和士
(神戸中央病院より異動)

医事課 一般職員
住田 千代都
(1月1日付、宇和島病院より異動)

経理課 一般職員
野村 直人
(滋賀病院より異動)

薬剤師
佐伯 勝成

診療放射線技師
門口 宗一郎

診療放射線技師
坂本 幸実香

保健師
木下 沙弥香

保健師
柴田 優佳

保健師
瀧石 彩香

保健師
林 佑樹

保健師
森 永美咲

保健師
森 永結香

新入職員の紹介



脳神経外科 部長

さだなが ひろし

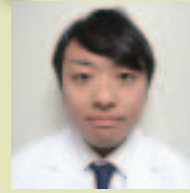
定 永 浩

専門分野／脳神経外科

所属学会／日本脳神経外科コンgres、
日本脳神経血管内治療学会 等

【一言メッセージ】

今までの経験を生かして最良の医療を提供していきたいと思ひます。



整形外科 医員

あさの けい

浅 野 圭

専門分野／一般整形

所属学会／日本整形外科学会

【一言メッセージ】

下関の皆様の“骨”の為に頑張ります。



消化器外科 部長

ながしま あつし

長 島 淳

専門分野／消化器外科

所属学会／日本外科学会、日本臨床外科学会 等

【一言メッセージ】

手術、化学療法を含めた治療を行います。



研修医

なかみぞ かずまさ

中 溝 一 允

【一言メッセージ】

1日でも早く一人前になれるよう毎日全力を尽くします。
よろしくお願ひ致します



整形外科 部長

のむら ともひろ

野 村 智 洋

専門分野／外傷、股関節外科、人工関節

所属学会／日本整形外科学会、日本人工関節学会 等

【一言メッセージ】

地域の患者様の生活に寄り添った診療を心がけています。
お気軽にご相談下さい。



研修医

まつうら たかふみ

松 浦 貴 文

【一言メッセージ】

山口県の医療を支えられる医師に1日でも早くなれるように
一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。



消化器内科 医長

ちゅうばち たつのり

中 鉢 龍 徳

専門分野／消化器内科

所属学会／日本内科学会、日本消化器内視鏡学会

【一言メッセージ】

地域医療に少しでも貢献できればと考えております。

3月31日付人事

【定年退職】

栄養管理室長	福田 裕子
副診療放射線技師長	高田 英雄
看護師長	岡田 慶子
総務企画課長	小橋 道昭
管理係長	石坂 喜代美

【転勤】

副看護部長	軍神 弘美 (りつりん病院へ)
医事課係長	安藤 芳浩 (高知西病院へ)

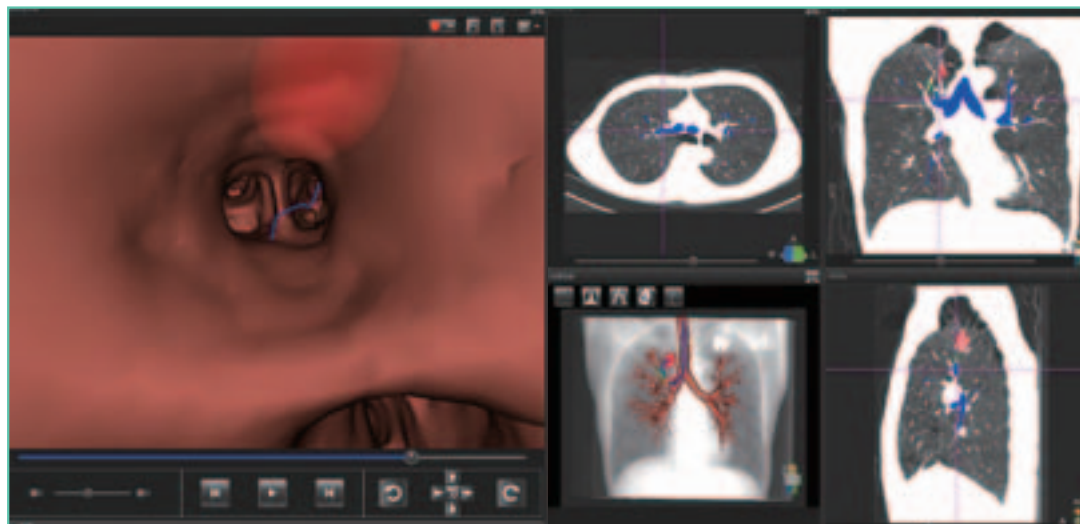
【退職】(医師のみ掲載)

消化器内科部長	木村 輝昭
眼科医員	内 翔平
消化器内科医員	矢野 愛恵
麻酔科医員	大野 宏幸

手技の説明

末梢病変について

『誘導は?』→まるでカーナビのように、CTから作成した仮想気管支鏡像で、赤色でマークされた対象病変に近づけるような枝を選び進んでいける。



『確実な組織採取は?』→EBUS-GS：ゾウの鼻が非常に細長くなったようなもので細長いトンネルの奥から鼻先の感覚でエサを採ってくるようなもの。気管支鏡では直接観察できないような末梢病変を超音波で確認し、繰り返し同じ場所で採取が可能なガイドシース（ブラシや生検針子という細胞や組織を採ってくる道具を通す細いストローのようなもの）を併用した手法を用い高い診断率を得ています。

径1.7mmの極細探触子が病変を捕える → ガイドシースという細いチューブを病変に入れてしまう → 素早く同じ場所から何度も組織が採れる、しかも、気道を刺激する（咳がでる）原因の出血も少なくて済む

中枢病変について

EBUS-TBNA：体表に超音波探触子を当ててお腹の中を見るように、径7mm弱の気管支鏡先端についた小さいエコーで気道壁の外にあるリンパ節などをリアルタイムに観察しながら穿刺吸引が可能になりました。この技術により、肺癌の縦隔リンパ節転移の有無がはっきりすることが多くなり、正しい病期診断ができるようになりました。より適切な治療を選ぶことが出来ます。血液内科と術前から綿密に準備をすれば悪性リンパ腫の診断も可能になりました。以前なら全身麻酔が必要な縦隔鏡検査が不要になる場合が増えました。



(文責：呼吸器外科部長 森田克彦)

